



あゆみの会の皆さん

2017.8
まちの誇り
ぶち★ま
きらい

ボランティアグループ「あゆみの会」

菊川地区で、清掃や緑化活動などに取り組むボランティアグループ「あゆみの会」が地域環境美化功績者として、平成29年度の環境大臣表彰を受賞しました。

地域に根付いた活動を続けて44年。今では、なくてはならない存在です。

今回は精力的に活動を続ける「あゆみの会」をご紹介します。

菊川町で初めて環境大臣表彰を受賞!!

環境省は、毎年6月の環境月間に合わせて、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して、顕著な功績があった団体や個人に対し、その功績をたたえるため、毎年度、環境大臣による表彰を行っています。今年度は42人、75団体が表彰されました。

下関市全体では7件目の受賞、菊川地区では初の受賞となりました。

私たちの町だから 私たちの手で

会の発足は昭和48年。当時、菊川町には福祉施設がなく、高齢者は町外の施設にお世話になっていました。その関係で、施設の清掃

活動を行ったことがきっかけでした。発足当初は26人でしたが、現在は60歳〜80歳代の約40人の会員が活動しています。

活動内容はさまざま

地域の方が使うバス停の清掃活動や、道路沿いの花壇の植栽、福祉施設の窓拭きや床掃除。小学校では野菜の植え付け準備から収穫まで子どもたちと一緒にやります。

年末には、80歳以上の高齢者のお宅へ餅を配るため、約90歳の餅米をつき、一つ一つ丸めます。「幸福もち」と名付けられ、来年も皆さんにとってよい年になりますようにと思いを込め、高齢者の自宅へ会員が声を掛けながら届けます。ボランティアと一言で言い切れないほど、活動内容はさまざまです。「会員それぞれが得意分野を生かした活動をしているので、外での草刈り、室内での清掃など、呼び掛けるとすぐに必要人数が集まります。」

私が社会福祉協議会の職員だった時にあゆみの会と出会いました。会員の皆さんのフットワークの軽さ、頼もしさにほれ込んで、今も全力でサポートを続けています」と

稗田事務局長は会への思いを語ってくれました。

誰かのためと自分のため

会の活動資金づくりのため、菊川の文化産業祭や、ボランティア祭りで、たこ焼きや焼きそばを販売しています。毎月10日には菊川温泉華陽の敷地内で「ぼん菓子」の加工を行っています。昔ながらの機械で「パンツ」が出来上がる瞬間のドキドキした気持ちを味わうことができます。会員同士の仲の良さや、自分自身が楽しんで活動していることが伝わってきました。

「今回の受賞は、歴代の代表やこれまで頑張ってくれた会員全員のおかげです。しかし、高齢になり、やめていく人もいます。現会員の中でも比較的若い60代の人が増えてくれればいいですね。町内には自分たちの存在を知らない人も多く、今回の受賞をきっかけに会に入会してくれる人が増えて欲しいです」と早川会長。

これからの会の活動にますます期待が寄せられます。

私たちと一緒に楽しくボランティア活動しませんか？
問い合わせ
☎090-8600-6780



活動の様子



市長報告(7月5日)